

本社説明の処方薬

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



1

本社は現場を見ていない



① 症状

現地では問題が見えているが、
本社には断片的な報告しか届いていない



② 地雷

本社が現場の温度感を理解できず、
判断が遅れたり、現地への指示がずれたりしやすい



③ 処方

現場で起きていることを、判断事項、
リスク、費用、期限、必要承認に分けて整理する



④ 効能

本社が何を判断すべきか見え、
現地との認識差を減らしやすくなる



⑤ 副作用

整理を始めると、現場側の説明不足や
本社側の理解不足が見えてくることもある

⑥ 影響する後工程



現場整理



判断事項整理



本社説明



承認取得



実務実行

本社説明の処方箋

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



2

専門家の話だけで安心してしまおう



① 症状

弁護士や会計士から方針は聞いているが、現場で何をどう実行するかが整理されていない



② 地雷

専門家の判断と現場実行がつながらないと、労務、税務、設備、証憑整理で止まりやすい



③ 処方

専門家の方針を、現場作業、必要資料、担当者、期限、未決事項に落とし込む



④ 効能

専門家判断と現場実務がつながり、本社へ説明しやすくなる



⑤ 副作用

専門家に任せられない現場作業の多さが見えてくることもある

⑥ 影響する後工程



専門家確認



実務分解



資料整理



本社説明



現場実行

本社説明の処方箋

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



3 時間軸の見え方がずれる



① 症状

本社は『いつ終わるか』を知りたいが、現場では日々の作業と未決事項が積み上がっている



② 地雷

全体スケジュールだけを示すと、途中の労務、設備、海関、税務、登記の詰まりが見えにくい



③ 処方

専門家が示す全体時間軸の中で、現場が積み上げるべき作業、期限、依存関係を整理する



④ 効能

本社が全体期間と現場工程の関係を理解しやすくなる



⑤ 副作用

時間軸を分解するほど、想定より長い作業や先に潰すべき論点が見えてくることもある

⑥ 影響する後工程



全体工程



現場工程



依存関係整理



本社説明



進捗管理

本社説明の処方箋

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



4 費用だけ先に聞かれる



① 症状

本社から総額や概算費用を求められるが、現場では前提条件がまだ固まっていない



② 地雷

前提なしの金額だけが一人歩きすると、後から追加費用が出たときに不信感が生まれやすい



③ 処方

費用を、労務補償、原状回復、設備撤去、廃棄、税務清算、専門家費用に分け、前提条件とセットで説明する



④ 効能

本社が金額の根拠と変動要因を理解しやすくなる



⑤ 副作用

費用を分解するほど、見えていなかった追加費用や未確定条件が出てくることがある

⑥ 影響する後工程



費用洗出し



前提整理



見積取得



本社決裁



支払実行

本社説明の処方薬

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



5

リスクが抽象的なまま伝わる



① 症状

現地から「揉めそう」「危ない」「時間がかかりそう」という感覚的な報告になっている



② 地雷

抽象的なリスクだけでは、本社が判断できず、必要な決裁や対策が遅れやすい



③ 処方

リスクを、発生条件、影響範囲、費用影響、日程影響、必要判断に分けて説明する



④ 効能

本社が何を許容し、何を止めるべきか判断しやすくなる



⑤ 副作用

リスクを具体化すると、誰が判断責任を持つかが見えてくることもある

⑥ 影響する後工程



リスク整理



影響分析



対策案作成



本社判断



実行管理

本社説明の処方箋

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



6

現地の優先順位が伝わらない



① 症状

本社には複数の課題が並列に見え、
現地で何から処理すべきか伝わっていない



② 地雷

労務、合併先、大家、海関、税務の順番を
間違えると、後工程が一斉に止まりやすい



③ 処方

課題を、先に止めるべきもの、並行できるもの、
後でよいものに分けて説明する



④ 効能

本社が現地の優先順位を理解し、
必要な支援や決裁を出しやすくなる



⑤ 副作用

優先順位をつけるほど、後回しにしていた問題が
見えてくることがある

⑥ 影響する後工程



課題棚卸



優先順位付け



本社共有



承認取得



実務実行

本社説明の処方薬

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



7

本社決裁に必要な資料が足りない



① 症状

現地では動きたいが、本社決裁に必要な
見積、契約、写真、台帳、専門家コメントが不足している



② 地雷

資料が弱いと、本社で差し戻しになり、
現地の実行タイミングを逃しやすい



③ 処方

決裁事項ごとに、必要資料、根拠資料、
専門家コメント、現場写真、見積、期限を一覧化する



④ 効能

本社決裁の差し戻しを減らし、
現地実行へ進みやすくなる



⑤ 副作用

資料を集めるほど、証憑不足や
見積根拠の弱さが見えてくることもある

⑥ 影響する後工程



決裁事項整理



資料収集



本社申請



承認取得



実務着手

本社説明の処方薬

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



8 日本側の常識で判断してしまう



① 症状

本社が日本の感覚で、サイン、公章、税務、海関、労務、大家対応を軽く見ている



② 地雷

中国現地の手続きや相手方の力関係を理解しないまま判断すると、現場対応が難しくなりやすい



③ 処方

日本側の前提と中国現地の前提が違う部分を、制度、実務、相手方、必要資料に分けて説明する



④ 効能

本社が現地特有の制約を理解し、無理な指示や過小評価を減らしやすくなる



⑤ 副作用

説明するほど、本社と現地の感覚差や過去の認識ズレが見えてくることもある

⑥ 影響する後工程



前提整理



現地事情説明



本社理解



判断修正



実務安定

本社説明の処方薬

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



9 悪い情報を出すタイミングが遅れる



① 症状

問題が見えていても、
確定してから本社へ報告しようとしている



② 地雷

問題が固まってから出すと、
本社は『なぜ早く言わなかった』と感じ、
現地への信頼が下がりやすい



③ 処方

確定情報、未確定情報、懸念事項、
判断待ち事項を分け、早い段階で共有する



④ 効能

本社が早めに構えられ、
追加費用や日程遅れへの対応がしやすくなる



⑤ 副作用

早く共有するほど、
追加質問や説明負担が増えることがある

⑥ 影響する後工程



懸念整理



早期共有



本社確認



対策協議



実務修正

本社説明の処方薬

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



10 説明相手が一人ではない



① 症状

本社説明を一つの報告として考え、社長、経理、法務、人事、事業部ごとの関心差を整理していない



② 地雷

相手ごとの関心がずれると、費用、リスク、労務、法務、事業判断のどこかで話が止まりやすい



③ 処方

説明相手ごとに、知りたいこと、判断すること、必要資料、懸念点を分けて準備する



④ 効能

本社内の理解が進みやすくなり、決裁や支援を得やすくなる



⑤ 副作用

説明相手を分けるほど、本社内の温度差や部門間の優先順位差が見えてくることもある

⑥ 影響する後工程



相手整理



資料分解



個別説明



決裁調整



実務支援

本社説明の処方箋

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



11 本社説明を後回しにしない



① 症状

現地実務を先に進め、本社への判断事項、未決事項、必要承認の整理が後回しになっている



② 地雷

最後に説明すると、費用、日程、リスク、責任範囲が一気に噴き出し、承認が止まりやすい



③ 処方

撤退や清算の初期段階から、本社判断事項、必要承認、説明資料、未決論点を整理する



④ 効能

本社承認の順番が見え、現地実務の手戻りや停止を減らしやすい



⑤ 副作用

早く始めるほど、本社と現地の本質的な認識差が早く見えてくる

⑥ 影響する後工程



初期整理



判断事項確認



本社説明



承認取得



実務実行

本社説明の処方箋

現地の問題を、判断できる形で本社へ返すために



12

本社説明は出口全体をつなぐ



① 症状

本社説明を単なる報告業務として見ており、撤退全体への影響を十分に見ていない



② 地雷

本社判断が止まると、労務、設備、税務、海関、合弁先、工場返還まで止まりやすい



③ 処方

本社説明を出口設計の中心に置き、法務、税務、労務、現場返還、設備処分とつなげて管理する



④ 効能

全体の出口条件が見え、撤退実務を一つの流れとして組み立てやすくなる



⑤ 副作用

全体をつなげるほど、本社と現地の認識差や未整理事項が見えてくることもある

⑥ 影響する後工程



本社判断



実務実行



税務清算



現場返還



登記抹消